

19年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数			駆除日数	重点海域の状況
			19年度	18年度	17年度		
奄美市	963,000	大浜周辺	2,996	4,874	140	9	ミドリイシ類は殆ど食害を受け壊滅状態。キクメイシ類やハナヤサイサンゴ類が残っている。
		崎原	19	303	0	3	礁縁にクハダミドリイシやハナヤサイサンゴの群落が広がる。オニヒトデの食痕も見られない。
	1,041,000	用安	1,424	982	352	11	サイズが大きく数も多い。
		節田	77	852	427	2	サイズが小さい
住用地区	244,000	トビラ島	305	—	—	3	浅瀬の方は食害があり、沖合ではあまり見られない。
大和村	666,000	ヒエン浜	1,149	6,457	—	8	オニヒトデの数も減り、サイズも小さくなっている。箇所によっては、回復の兆しも見えている。
宇検村	1,032,000	屋鈍	94	239	80	3	4割から5割のサンゴが生存している。
		アヨ崎	24	—	—	1	約7割程度のサンゴが死滅している。
		平田	179	38	—	6	約7割程度のサンゴが生存している。
		クラキ崎	71	—	—	2	約6割のサンゴが死滅している。
瀬戸内町	10,866,000	安脚場・黒崎	3,001	3,077	9,266	92	
龍郷町	1,080,000	宇天	108	28	—	2	ミドリイシ系、ハマサンゴ系など多種が見られる。
		戸口(アウン)	4,441	78	—	8	ミドリイシ系のサンゴが見られ、深いところは被度も高いが、オニヒトデも多い。
		戸口	162	167	—	1	白化現象後、復活したサンゴが見られる。生サンゴは、場所によっては70%近くになっている。
		龍郷湾コウトリ浜先	18	—	—	2	白化現象から多少ではあるが回復が見られる。
		龍郷湾倉崎地先	70	—	—	3	サンゴの被度も高く、キクメイシ系が多く見られた。
徳之島町	1,320,000	畦	379	744	764	22	レイシガイが枝サンゴに多く見られる。
天城町	1,089,000	ツインポイント	67	35	20	9	昨年度と比較し余り変化なし。被度15%程度。
伊仙町	360,000	面縄港東側	54	76	181	2	
		喜念崎	230	28	70	2	
		佐弁	53	334	274	1	
		西伊仙	38	—	—	2	

19年度 サンゴ礁保全対策事業(オニヒトデ駆除)実績

市町村名	駆除事業費	駆除海域	駆除数			駆除日数	重点海域の状況
			19年度	18年度	17年度		
和泊町	1,028,000	美瀬	44	151	371	4	オニヒトデも減ってきているが、サンゴも減っている。
		南栄	13	37	77	2	レイシガイによる食害が目立った。一部白化も見られる。
		西原	0	0	0	4	レイシガイによる食害が目立った。ー
		笠石	2	ー	ー	1	全体的にサンゴが壊滅状態であるが、塊状のサンゴが所々生きている。
		出花	1	4	ー	4	台風で折れているサンゴが目立つ。
		イダシチ	0	ー	ー	2	台風で折れているサンゴが目立つ。
		ワンジョ	0	0	ー	3	最近是小魚が多く見られる。
		シナハ	14	56	ー	2	全体的にサンゴが少なくなっている。
知名町	707,000	屋子母	51	112	118	4	サンゴの白化少し見られる。
		屋者	48	27	62	8	サンゴの白化少し見られる。レイシ貝が多い。
		余多	5	ー	ー	1	新たなサンゴの加入が見られる。
		沖泊	0	ー	ー	1	レイシガイが多い。
与論町	926,000	茶花沖(B&G)	18	18	100	5	サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		赤崎南東	6	13	62	2	サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		赤崎北東	4	15	54		サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		百合が浜沖	12	11	43	5	サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
		湯浜沖	4	10	45		サイズも小さくオニヒトデも殆どいない。
合計	21,322,000		15,181	18,766	12,506	242	

注:瀬戸内町は、ボランティアによる駆除、町単独事業等を含む。